

発刊にあたって

私の手元にある「生垣」と題する出版物はそれぞれ20年前のものと40年前の2冊です。ほかに生垣について記載された本もありますが、その量は十分ではありません。そして、その内容も現代の生垣作りとは異なる部分があり、参考になる部分も少なくなってきました。

住環境も、人々の意識も、時代とともに大きく変化してきました。そこで、今の時代に合った生垣作りに役立つ本が必要であると、多くの人に要望されていることもあり、本書を刊行することになりました。



昔と今を比較してみると、いくつもの変化に気づきます。昔の住宅地は平地に家を建て、そこに目隠しを目的として生垣を作りました。生垣の高さはヒューマンスケールで、1.8～2.0mほどでした。しかし、現在の住宅地は造成地が多く、石積みやコンクリート^{ようへき}擁壁で道路面より1.0m内外高くした上に家を建てるケースが多くなっています。それに伴い、生垣の高さも1.0m内外でつくられるようになってきました。

生垣に用いられる樹木にも変化があります。昔は生長が早く、葉は大きく、濃緑色の葉をつけるものが好まれていましたが、現在は生長が極端に早くなく、小葉で淡緑色や色とりどりのカラーリーフをつけるものがよく選ばれるようになってきています。

生垣は、平面図上で見れば1本の線で表現されます。しかし、面として捉えれば、大きな緑量を確保できるものでもあります。住宅地は年々狭小化しており、大きな樹木を植える場所は少なくなる一方です。そこで、生垣は都市の重要な緑として位置づけていく必要があると思います。

たとえば、東京都の農地は1960年には31,447haありましたが、2005年には8,340ha、2010年には7,670haに減少しており（『東京農林水産統計年報』による）、ここ10年ほどでも毎年100ha近くの農地が減少しています。このように、都市の緑は少なくなる一方です。また、長引く不況により公共事業の予算も減り、新しい公園が造られる見込みもありません。そのような状況下で、生垣の存在に改めて注目したいものです。



昨年の3.11東日本大震災では、不幸にも石塀やブロック塀の倒壊による被害が出て、その危険性が問われ、生垣の存在が見直されようとしています。緑化ばかりでなく、都市の防災という点からも、本書が皆さまのお役に立つことを願います。

2012年12月 三上常夫

目次



アマミヒイラギモチ

| | |
|------------------------|-----|
| 発刊にあたって | 2 |
| 用語のワンポイント解説 | 4 |
| 新しい生垣編 | 5 |
| 1. 新しい生垣の提案 | 6 |
| コラム：変わった形の刈込み生垣を作りませんか | 11 |
| 新しい生垣のある暮らし | 12 |
| 2. 新しい生垣の考え方 | 14 |
| 1) 生垣の歴史の変遷と新しい役割 | 14 |
| 2) 生垣の定義 | 16 |
| 3) 生垣としての基本的な機能 | 17 |
| 4) 生垣用樹としての必要条件 | 17 |
| 5) 生垣の種類 | 18 |
| 3. 用途に合わせた樹種選び | 24 |
| 1) 生育環境で選ぶ | 24 |
| 2) 機能（目的）で選ぶ | 29 |
| 3) 樹種の特性で選ぶ | 33 |
| 図鑑編 | 41 |
| 図鑑編の見方 | 42 |
| 図鑑 | 44 |
| 生垣作りと管理編 | 179 |
| 1. 生垣の作り方 | 180 |
| 1) 苗木選びと購入、植えつけ時期 | 180 |
| 2) 植え穴掘り | 181 |
| 3) 土壌の改良 | 181 |
| 4) 支柱の設置 | 182 |
| 5) 植えつけ | 183 |
| 6) 仕上げ・養生 | 184 |
| 2. 生垣の管理 | 185 |
| 1) 刈込み | 185 |
| 2) 病虫害防除 | 189 |
| 3) 施肥 | 190 |
| 4) 水やり | 192 |
| 資料編 | 193 |
| 生垣・壁面緑化等に関する助成金制度一覧 | 194 |
| 学名さくいん | 202 |
| 和名さくいん | 203 |
| 参考文献・協力 | 207 |

図鑑編の見方

1 *Taxus cuspidata*

2 イチイ

3 ●イチイ科 イチイ属 ●常緑針葉樹/高木 **4**

5

6

DATA

観賞時期
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月

葉花 **9**

刈込み時期
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月

光の条件 **10**

水の条件

積雪

乾寒風 **11**

暑さ

湖風

植栽可能域 **12**

枝葉密度 **13**

7

並垣の事例

寒い地方に向く、生垣の特性を備えた針葉樹

【特徴】

- 生垣としての特性を備えた針葉樹の一つ。暑さを嫌うので北国や高標高地向きの樹種で、夏が高温乾燥の都市環境では生育が衰える。
- 刈込みに耐え萌芽力も大きいが生育はやや遅い。刈込み頻度を上げると、繊細な仕上りになり上品な生垣 **8**。

【管理】

- 暖地では、夏の刈込みは避ける。

【植物・品種情報】

- 名前は、この木で束帯を着るときに持つ板片の笏を作ったことから、朝廷より「一位」の名を賜ったことによるという。
- 都市部での利用では、キャラボク (p.146) が向いている。

【病虫害】

- 特に目立った病虫害は見られない。

7

ユニークに仕立てることも可能

145

5 生垣の種類マーク

• 高さの違いによる区分：地面からの高さの目安です。

高さ～0.6m程度

緑取り

高さ1.0m前後

低垣

高さ1.8m前後

並垣

高さ3.0m前後

高垣

• 機能(目的)による区分：植栽する際に参考となるような主な機能を示しています。

• つる植物の利用対象 (p.4参照)

注：つる植物について一般的につる植物による緑化は壁面緑化の一部とされるため、自治体などの生垣助成制度 (p.194～参照) の対象に含まれない場合があります。ご利用の際は事前に各窓口などにご確認ください。

1 学名

- 国際命名規約に基づく、世界共通の植物名称です。本書では属と種で構成する二名法での表記を採用 (命名者名は省略) し、属名と種小名及びその下分類 (変種・品種) を記載しました。園芸品種名は単一引用符 (' ') 内に記されます。
- 「図鑑編」は原則として学名のアルファベット順に収録しています。また、壁面緑化に用いるつる植物は最後にまとめて紹介しています。
- 属名と種小名の間にある×印は、交配雑種 (掛け合わせ) を示しています。
- 項目が複数の種 (小名) 及びそれより下位の品種 (園芸品種) を含む場合には、共通部以下を sp. (種) ならびに cv. (園芸品種) と省略してあります。

2 植物名

- 標準和名を記載しています。標準和名のない外国産の植物などの場合は、一般的に用いられている学名及び品種名などの読みを組み合わせ用いています。

3 科名・属名

- 植物分類学上の科名、属名を表記したもので、和名を原則としました。ただし、日本に自生のない植物などで、科・属名の和名がない場合は、学名の読みをそのまま用いています。

4 形態分類

- 常緑・落葉及び針葉樹、広葉樹、低木、中木、高木、つる植物などの形態の違いをもとにした区分です。

6 「積算」マーク

『月刊積算資料』に掲載されている植物にはマークを記しています。
(おもに公共事業関係者向けの情報です)

7 写真

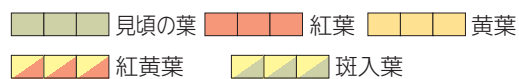
- 利用事例、花や葉などの特徴的な部分のアップを収録しました。

8 解説

- 特徴：生垣としての美性や実用性、仕立て方、植栽上の注意点、葉・花・実などの特徴を紹介しています。
- 管理：刈込みを中心に、管理上注意したいポイントなどを紹介しています。
- 植物・品種情報：原産地、名前の由来、品種などを紹介しています。
- 病虫害：特に注意しなければならない病気や害虫などを紹介しています。

9 観賞時期

- 葉・花・実について、観賞価値がある場合は、おおよその時期(東京標準)を示しました。
- 葉は、特に見頃の葉、秋の紅葉、斑入葉をおおよその時期で色を分けて表示しました。



10 刈込み時期

- 生垣の刈込みに適したおおよその時期を示しました。

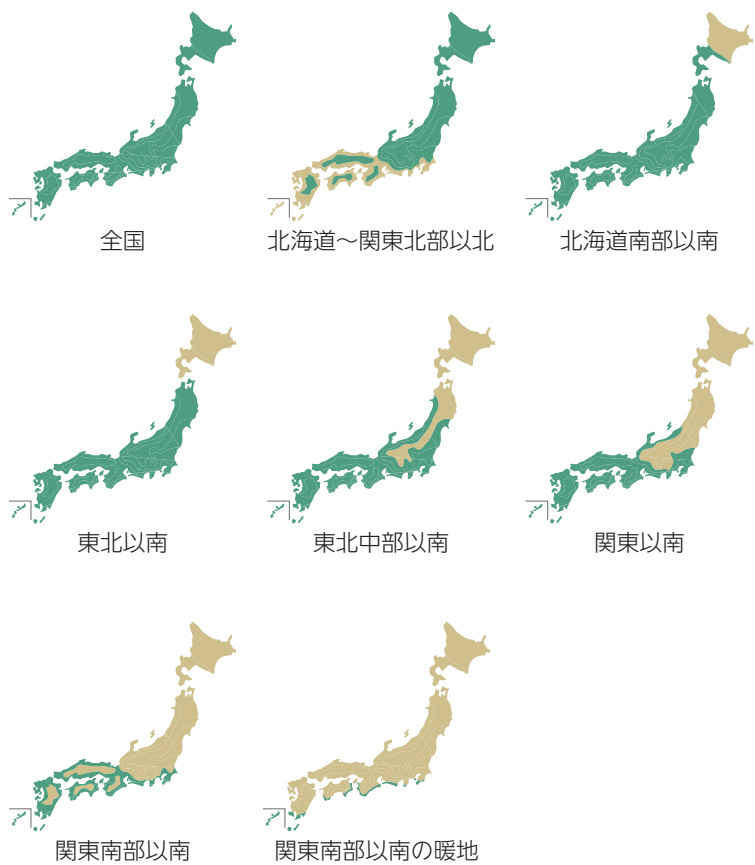
11 生育条件と耐性

- 光の条件：陽は日当たりに強く、陰は日陰に耐えます。
- 水の条件：乾は乾燥地、湿は湿潤地に耐えます。
- 積雪：積雪に対するその植物の強弱です
- 乾寒風：乾寒風に対するその植物の強弱です。
- 暑さ：暑さに対するその植物の強弱です。
- 潮風：潮風に対するその植物の強弱です。

※各条件中央部に分布するものは、極端な環境を好まないものです。また、植物ですので個体差もあります。

12 植栽可能域

- 気温や積雪などの条件をもとに日本国内での植物の植栽(生育)適地の目安を模式図で示しました。



13 枝葉密度

- 枝葉の密度を5段階に分けて示しました。



日常的に生育状況に注意を払うことが大切



足元の形状変化タイプ(p.7)の下に花を植える

注：本書の取り扱うデータに関しましては、植物という性質上、個体差やその年々の気象条件などがありますので、あくまで目安であるとお考えください。

ムクゲ

●アオイ科 フヨウ属 ●落葉広葉樹/中木



低 垣



並 垣



仕切り



入止め



軽めの刈込みで美しい花垣が楽しめる

多くの品種を用いて変化ある花垣を作れるのが魅力

【特徴】

- 花つきがよく、次々と花をつけるので夏から秋まで楽しめる花垣として貴重。
- 品種が多く、花形や花色の異なる品種を選んで混植すると夏の彩りとしておもしろい。
- 上に伸びる性質が強く、放置するとかなり高くなるので、早めに芯を止めて低めに仕立てると、目線の位置で花が楽しめる。

【管理】

- 花期が長いので、花後か芽出し前に思い切って切詰めると、新しい枝がたくさん伸びて、美しい花が楽しめる。

【植物・品種情報】

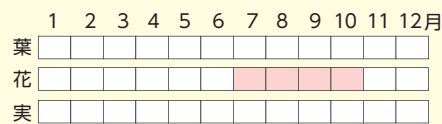
- 多くの品種が知られており、好みの花形や花色を見つけて植つけるとよい。

【病虫害】

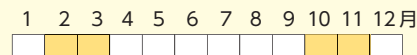
- アブラムシ(ワタアブラムシ)、ハマキムシ(ワタメイガ)、カクモンメイガなど害虫が多いので、早めに薬剤散布を行って駆除する。

DATA

観賞時期



刈込み時期



光の条件



水の条件



積雪



乾寒風



暑さ



潮風



植栽可能域



枝葉密度



強めの刈込みの事例

ムクゲ

●アオイ科 フヨウ属 ●落葉広葉樹/中木



低 垣



並 垣



仕 切 り



入 止 め



軽めの刈込みで美しい花垣が楽しめる

多くの品種を用いて変化ある花垣を作れるのが魅力

【特徴】

- 花つきがよく、次々と花をつけるので夏から秋まで楽しめる花垣として貴重。
- 品種が多く、花形や花色の異なる品種を選んで混植すると夏の彩りとしておもしろい。
- 上に伸びる性質が強く、放置するとかなり高くなるので、早めに芯を止めて低めに仕立てると、目線の位置で花が楽しめる。

【管理】

- 花期が長いので、花後か芽出し前に思い切って切詰めると、新しい枝がたくさん伸びて、美しい花が楽しめる。

【植物・品種情報】

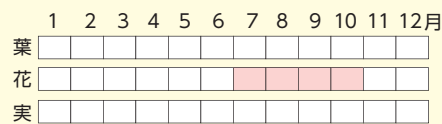
- 多くの品種が知られており、好みの花形や花色を見つけて植つけるとよい。

【病虫害】

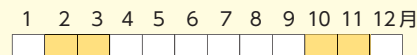
- アブラムシ(ワタアブラムシ)、ハマキムシ(ワタメイガ)、カクモンメイガなど害虫が多いので、早めに薬剤散布を行って駆除する。

DATA

観賞時期



刈込み時期



光の条件



水の条件



積雪



乾寒風



暑さ



潮風



植栽可能域



枝葉密度



強めの刈込みの事例

ブーゲンビレア

●オシロイバナ科 ブーゲンビレア属 ●常緑広葉樹/つる植物



並垣

高垣

フェンス/トレリス



花期が長く、花(苞)は株を覆うように咲く

太陽の光を浴びて、南国情緒を醸し出す

【特徴】

- 新梢がつる状に長く伸び、葉腋につく刺を使ってフェンスやトレリスなどを登はんする。枝数が少ないので仕上りはやや粗い。
- 寒さに弱いので、関東南部以南の無霜地帯での利用が望ましく、冬の乾寒風の当たらない南向きの場所が適している。

【管理】

- 植えた年の冬は、防寒するとよい。
- 花後に強めに刈込み、勢いのよい新梢を伸ばすようにする。

【植物・品種情報】

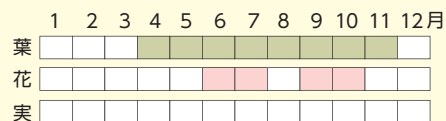
- 花びらのように見える部分は「苞」と呼ばれる葉の一種。
- 多くの品種があるが、最も一般的に生産されている園芸品種は‘サンデリアナ’といわれ、苞はスミレ色で耐寒性も強い。

【病虫害】

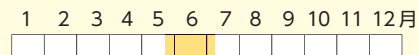
- 特に目立った病虫害は見られない。

DATA

観賞時期



刈込み時期



光の条件



水の条件



積雪



乾寒風



暑さ



潮風



植栽可能域



枝葉密度



やや粗



花は新梢の先端につく